

76年から 福祉施設で手品や変面披露

別府市の萱嶋仁侠さん

社会貢献者表彰を受賞した萱嶋仁侠さん。1976年からの公演回数は1360回に達した=別府市竹の内



笑い届け社会貢献者表彰

・糸を設立。被書を受けた日田市などを訪れた。昨年の熊本・大分地震の被災地にも精力的に出掛けた。「自衛隊員時代に災害派遣に出向き、泥だらけになつた経験がある。被災した皆さんのが苦しみは分かる」と話す。萱嶋さんは「受賞は名誉なこと。自分で道具を作り、人前で披露するのが楽しい。笑うことは健康に良い」と語る。腹話術に手品を取り入れた新たな芸も用意しており、「今後も多くの人たちに

芸名は「かやしま天」や高齢者施設、病院など笑いを届けたい」と生涯峠」。玖珠町の陸上自衛隊駐屯地で自衛隊員として働いていた当時、子ども会で手品を披露したことなどがきっかけで、奉仕活動を始めた。83年から別府駐屯地勤務となり、97年に退職。余暇を利用して児童養護施設地を激励する「芸能集団

被災地訪問も精力的に

芸能の変面、笑いヨガなど多彩な芸でたくさんの人々を楽しませてきた。

(坂本陽子)

2012年の大分県豪雨を契機に、県内の仲間たちと水害や地震の被災地を激励する「芸能集団

からは萱嶋さんだけ。社会貢献支援財団は年2回、社会貢献者を表彰している。今回は157件の推薦があり、その中から審査で22人と31団体が選ばれた。県内

別府市竹の内の中嶋仁侠さん(74)が、社会貢献支援財団(東京都・安倍昭恵会長)が主催する「第49回社会貢献者表彰」を受賞した。1976年から、福祉施設などで手品や芸を披露するボランティア活動をしており、公演回数は1360回に達した。27日に東京都の帝国ホテル東京で表彰式がある。